

令和7年度 悠久会県央支部総会報告

県央支部副支部長 熊谷知也（機シH9）

令和7年県央支部総会を5月31日（土）に燕三条ワシントンホテルで開催いたしました。当日は、寺尾全国理事長、山内工学部長をはじめ多数のご来賓から出席をいただき、また支部の新人4名を交え、総勢73名の参加のもと、活発かつ有意義な会を開催することが出来ました。

ご多忙の中、出席下さいました方々に心より感謝を申し上げます。

支部総会は令和6年度会務報告、会計報告の確認、令和7年度予算について承認をいただいたのち「母校の近況報告」として山内工学部長から講演をいただきました。

その中で、ファーストペンギンについてのお話をお聞きし、リスクを恐れず初めてのことに挑戦するベンチャー精神の大切さを学生にお伝えされているとのことで、大変感銘を受けました。

当支部は燕三条地域を中心とする、ものづくり企業に在籍している同窓生が参加されています。

ものづくりの世界で勝ち残っていくためには、常に新しいことにチャレンジしていく精神が大切で「現状維持は衰退である」という名言を多くの偉人が残しているとおり、就職してからは幾多の困難にぶつかるたびに、ファーストペンギンとしてリーダーシップを発揮することがとても大切なことだと実感しています。

学生時代からファーストペンギンになる勇気が持てることは今後の社会生活で必ず自身の糧になると思いました。

当支部も全国総会の開催地として立候補済みです。

一人でできることは限られますが、支部に集う仲間たち全員で知恵をしぼり、来る全国総会に向け支部活動を活性化し、心ひとつに取り組んでいくことを祈念して、支部総会を閉会いたしました。

